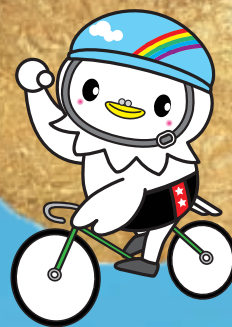


第48回 芸州鯉城賞

前検日コメントなら ウィンチケット杯



S級展望

広島支部では一大勢力を誇る吉本哲郎門下の急先鋒。昨年4月の伊東アドバンスでS級初優勝。同門の西田優大とのコンビで年末のGⅡヤンググランプリへ出場するなど、将来が囑望されるホープ。地元初戦となった昨年のピースカップでは思うような成績を残せなかっただけに、今回は地元ファンの期待に応えたい。



黒瀬浩太郎
広島123期S1

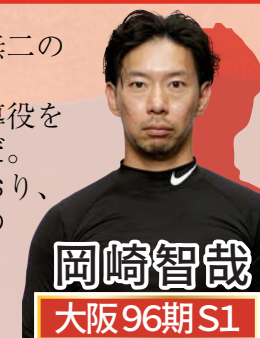
A級展望

S級初挑戦となった前期は苦しい戦いを強いられたが、それでも4勝をマークするなど爪痕を残した。今期は、2場所目の小倉で早速優勝を果たすと、2月西武園→3月京王閣と連続Vと好リズム。アマチュア時代には個人パーシュートや1キロTTに加えチームスプリントで実績を残すなど、スピードとスタミナを併せ持つ。



松本京太
静岡123期A1

層の厚い大阪支部の中でも唯一無二の存在感を放つオールラウンダー。不惑を迎えてもなお、ラインの先導役を務めるだけのタテ脚は衰え知らずだ。近況は大崩れのない走り続けており、3月大垣では同郷の後輩・久田朔の番手回りを生かして今年初Vと、近況は上昇気流に乗っている。



岡崎智哉
大阪96期S1

昨年8月名古屋でS級初優勝をパーフェクトで達成するなど、軌道に乗ってきた中でのA級降級。今期初戦の広島で、いきなり完全Vを飾ると2月松山、3月岐阜とコンスタントに優勝と実力をいかんなく発揮している。3月末の立川での落車の影響は気がかりだが、コンディションが回復していれば堂々の優勝候補だ。



林昌幸
愛媛119期A1

GⅠ9勝の偉大なる父・芳仁の背中を追ってプロデビュー。チャレンジから18連勝でA級を卒業すると9月小倉でS級初優勝。昇級直後は落車禍に泣かされることもあったが今年順調に推移。2月取手で2度目のV奪取にも成功した。隊形は違えど、乗車フォームは父譲りなのも興味深い。



山崎歩夢
福島125期S2

185センチを超える恵まれた体格を生かしたパワフルな先行勝負がセールスポイント。昨年8月に練習中の落車で鎖骨骨折に加え、手を負傷するアクシデントに見舞われた。3カ月の休養を経て鮮烈復帰すると、3場所目の松阪で優勝。今期に入っても3月岐阜のVをはじめ進撃を続けており、S級点確保へ順調な歩みを続けている。



松本定
福岡125期A2

広島競輪場アクセスマップ 〒734-0011 広島県広島市南区宇品海岸3丁目6-40

広島競輪場バンク概要
1周 400m
直線カント 3°26'11"
最大カント 32°31'40"
みぞ直線 57.5m
ホーム幅員 10.5m
バック幅員 8.5m
センター幅員 7.3m

広島競輪場はアーバンサイクルパークス広島にリニューアルしました！

ひろしまけいりん
Hiroshima Keirin

広島市営競輪開催中

ステキなプレゼントが当たる！

※ひろしまびーすけをフォロー & 該当ポストをリポスト

CTCキャンペーン

プレゼントキャンペーン

詳細は競輪公式投票CTCをご確認ください

